

# 受験相談Q & A

## 1 入試関係

Q：入試の種類や条件、試験科目を教えてください。

A：農業系高等学校後継者等特別推薦入学、一般推薦入学、一般入学の三種類があり、その条件などを表にまとめますので参考にしてください。なお、詳細は「学生募集要項」で確認してください。また、推薦基準を満たしているかは、在籍する学校に相談してください。

令和9年度入学生 選抜試験の概要

	推薦入学選抜		一般入学選抜	
	特別推薦	一般推薦	1次	2次
R7受験人数	14	48	25	1
願書受付期間	9/8(火)～9/11(金)	9/29(火)～10/15(木)	11/10(火)～11/25(水)	1/8(金)～1/25(月)
試験日	9/29(火)	10/30(金)	12/8(火)	2/10(水)
合格発表日	10/8(木)	11/11(水)	12/17(木)	2/25(木)
受験資格	<b>県内農業高校</b> 後継者等 I 同居家族に自営基盤あり 3.2以上 II 就農意欲が高い 高校実績 3.5以上	在学校長による推薦 愛知県内での農業従事意欲 3.0以上	高校卒業・卒業見込み・同等	
出願書類	入学願書 <b>入学志望理由書(740字)</b> 推薦書、調査書	入学願書 推薦書、調査書	入学願書 高校在学者：調査書 既卒者：卒業証明書・成績証明書 高卒認定者：合格成績証明書	
試験科目	<b>面接</b> (個人20分) 10:10～12:30	<b>小論文</b> (800字) 10:40～11:30 <b>面接</b> (個人20分) 12:30～	<b>小論文</b> (800字) 10:05～10:55 <b>数学I</b> (基礎的学力問題) 11:10～12:00 <b>面接</b> (個人20分) 13:00～	
合否について	各専攻5名以内程度	各専攻定員の8割程度	<b>全体定員は100名</b> 各専攻の定員 15名程度 (ただし作物は7名程度、豚鶏は10名程度)	

参考：令和8年度の専攻所属状況【専攻名・1年生計81・2年生計89】

【鉢緑・8・7】【切花・0・9】【作物・7・6】【果樹・15・15】【露地・15・15】【施設・16・14】【酪農・14・16】【豚鶏・8・7】

Q：農業系以外の高校から推薦入試は受験できますか。

A：一般推薦入試は、所定の条件を満たしていれば、対象となります。また、県外の農業系高等学校の方も所定の条件を満たせば一般推薦の対象となります。在学している学校に相談してください。

Q：他大学等との併願は可能ですか。

A：推薦入学は合格したら入学が確約できることが条件となります。なお一般入学は、併願が可能です。

Q：希望の専攻に入れない場合もありますか。

A：各専攻は学習内容・施設上の制約から定員があります。希望が特定の専攻に偏る場合、入試の成績や調査書を踏まえて専攻を決定するため、必ずしも第一希望の専攻に入れない場合もあります。そのため、一般推薦入学と一般入学の願書には第四希望までをご記入いただきます。

オープンキャンパス等で専攻の内容を十分リサーチしておいてください。

Q：一般二次試験は必ず実施されますか。

A：欠員が生じた場合、当該の専攻のみ実施します。二次試験を実施するかは一般一次試験合格発表時にホームページ等でお知らせします。

Q：県外受験者は不利になるのでしょうか。

A：一般推薦入学、一般入試ともに県外受験者が不利になることはありません。農業を学び、農業にかかわる道を志す学生は大歓迎です。とはいえ、本校の設置目的が「愛知県の農業の担い手育成」であることは心にとめておいていただきたいと思います。

Q：入試の過去問は公開していますか。

A：小論文テーマや数学の問題をホームページで公開しています。本校が養成する職業人の育成に必要な基礎的な力、すなわち、物事について考察し自分の意見を表現する力や農業の実践の場面で必要となる数学力を入試で問います。

Q：面接ではどのようなことを聞かれますか。

A：一般的な事項(なぜ本校・専攻を選んだか？ これまでの農業経験 高校生活で頑張ったこと進路目標)や愛知県の農業に関して知っていることなどを質問します。面接に正解はありません。一般的な事柄についてはありのままを教えてほしいですし、愛知の農業については知らなくても本校で学ぶ意欲が伝われば大丈夫です。明るく元気で協調性のある学生に集まってほしいと期待しています。

Q：普通科の生徒ですが、どのような受験対策をしたら良いですか。

A：農業経験があるに越したことはないのですが、なくても心配する必要はありません。農業に興味関心を持った動機を大切にしましょう。小論文対策としてはホームページで公開している過去問に繰り返し取り組み、農業に関する情報に接しましょう。また、数学も同様に過去問を繰り返し解き、数学力の基礎を確実に身につけておきましょう。

## 2 学校生活関係

Q：入学後ついていけるか心配です。

A：非農家や非農業系高校から進学してきた学生は多く在学しており、心配ありません。

本校は農場での実践学習(実習)に力を入れています。実習への不安は仲間とともに協力し徐々にできるが増える喜びも学習の一環です。実習はほぼ毎日あり、専攻での少人数実習のため、実績豊富な専門家である専攻担当の先生から丁寧に指導してもらえるので安心です。

全寮制(全個室・エアコンと Wi-Fi 完備)も本校の特徴です。門限や点呼、当番や食堂ルールなど様々な制約もありますが、親元を離れて自立する第一歩には最適とも言えます。

勉強については受験対策ならびに入学後の学習活動の基礎として漢字検定3級、英語検定3級を取得しておくことを目標としていただくのがお勧めです。

Q：費用はどのくらいかかりますか。

A：2年間でかかる費用は、総額で 200 万円程度です。

入学料、授業料、寮使用料、学資金(寮共通経費、光熱水費、講義テキスト代、実習費、海外派遣研修費 など)および寮での食費が含まれます。なお、授業料、寮使用料、学資金については、半期ごと4回に分けて徴収します。

Q：自家用車は乗り入れられますか。

A：申請して許可がおりたら本校学生駐車場の使用が認められます。

Q：資格はどのようなものが取得できますか。

A：本校を会場として受験できる大型特殊・けん引免許(農耕車限定)、ボイラー取扱者、日本農業技術検定や危険物取扱者、毒物劇物取扱者、小型車両系建設機械、フォークリフト、刈払機、家畜人工授精師といった農業に関する資格等を取得することができます。

Q：奨学金制度はありますか。

A：学生支援機構の対象校となっています。

Q：女子学生の割合はどれくらいですか。

A：年によって異なりますが、30%程度です。様々な場面で女子学生がリーダーを務めることも多く、決して男子学生中心ではありません。

Q：クラブ活動はありますか。

A：現在14クラブあり、楽しく活動しています。東海近畿地区の9府県の農業大学校スポーツ大会も毎年開催され、愛知農大は強豪校として知られています。

運動部：軟式野球、硬式テニス、陸上、フットサル、バレーボール、バスケットボール、バトミントン、卓球

文化部：茶道、軽音楽、写真、農業商人塾、ボードゲーム部、手芸

Q：海外派遣研修は行かなくてもよいですか。

A：2年生の専門科目の授業として行っており、卒業単位の履修修得要件になっていますので全員参加となります。オーストラリアに行き、海外の農業事情を実践的に学習する貴重な機会として本校の特色でもあります。

Q：入学後2つの専攻を学びたいが可能ですか。

A：カリキュラムの関係上、専攻を掛け持ちすることはできませんが、すぐそばで気になる他の専攻も活動しているということは、機会があれば学んだり交流したりできるチャンスになり得ます。

Q：自動車の運転免許は在学中に取得できますか。

A：できます。なるべく取得した方がよく、入学後近くの自動車学校に通っている学生も多くいます。通常の教習では講義欠席はできませんが、仮免許試験・本免許試験でやむを得ない場合は、講義の欠席を特別に認める制度もあります。なお、大型特殊自動車（農耕車）の資格取得講座には自動車運転免許の所持が前提となります。大型特殊自動車はMTなので、取得の際はMTで取得することをお勧めします。

### 3 寮関係

Q：アルバイトはできますか。

A：本分である講義や実習、寮生活に支障がない範囲でアルバイトは可能です。寮の門限23時を守ること、講義で居眠りしないこと、実習で集中力が散漫にならないこと、そして試験に合格できることを心得として、充実した学生ライフにしたいと思います。

Q：週末はどうなりますか。

A：週末及び長期休業時は原則帰宅することとなります。

ただし、専攻当番や自宅が県外等にあり、帰宅が難しい学生は、届けを出した上で在寮して過ごすこともできます。この場合、寮食堂では食事の提供がありません。

Q：食堂は利用せずに、自炊をしてもいいですか。

A：寮の構造上自炊はできません。平日は原則として食堂を利用し、休日は各自で用意をしてください。なお、談話室に共用の電子レンジ及びトースターがあり、自由に使用できます。調理器具の持ち込みは禁止となっています。

#### 4 進路関係

Q：4年制大学への編入は可能ですか。

A：編入試験を受験し、合格したら3年次からの編入が可能です。

本校は修了すると「専門士」の称号が与えられ、短大卒同等を見なされ、本校で修得した単位が編入しようとする大学のカリキュラムに合致することで単位として認定されます。教職課程があれば農業高校の先生になる道も開けます。

過去には、帯広畜産大学、信州大学、岐阜大学、島根大学、弘前大学、酪農学園大、愛知大学、中部大学などに編入しています。

Q：非農家の人はこういったところへ就職していますか。

A：本校は設置の目的から、愛知県での農業・農業関連への就農・就職に強みがあります。農業自営基盤はないが就農を希望する場合は、農業法人への就職（雇用就農といいます）を勧めます。

Q：県外への就職を予定しているが可能ですか。

A：可能です。本校の設置目的から、愛知県での農業・農業関連への就農・就職を検討してもらいたいところではありますが、様々な事情もあり、県外での就農・就職も含め、本校を卒業する仲間として応援しています。実際、毎年県外からの求人も多数あり、多くの学生が県外へも就農・就職し活躍しています。

Q：大卒やUターン、Iターンのため農大に入学しても就職活動は可能ですか。

A：他の学生と同様に就職活動をしています。多様な経験を持った学生からの刺激は、他の学生が進路を検討する上でも有益です。企業側も同様にどのような経験かを評価すると考えます。

#### 5 その他

Q：社会人向けの研修制度について教えてください。

A：社会人向けの研修制度については、農業大学校企画研修部におたずねください。